

議会だより あまぐさ

No.189

平成24年2月1日

発行：愛知県大口町議会



大口町は平成24年4月1日に町制50周年を迎えます



大口町制50周年

昔も現在も未来もずっと
愛があふれる みんなの大口

12月定例会

町制50周年記念事業に317万円 2

一般質問 前回同様10人

ごみスタンプカード 報奨金見直しへ 6

第1月曜日 子育て相談室 なぜ途中で廃止するのか 10

全国から議会広報視察相次ぐ 18

一般会計12月補正予算 3億407万円を減額

おもな内容

- 町制50周年記念事業 317万円(5ページ参照)
 - ・HAPPYバースデー!おおぐち事業(120万円)
 - ・50th記念式典合唱事業(150万円)など
- 被災地支援 183万円
 - ・今後の支援活動及び調査(83万円)
 - ・指定寄付による被災地支援(100万円)
- 障がい者自立支援(介護・医療給付費)1611万円
- 乳幼児等予防接種追加 362万円
- 余野1号公園整備工事減額 2000万円
- 道路橋りょう維持整備
 - ・道路維持工事追加 4500万円
 - ・道路改良工事減額 4300万円
- 南小学校建設工事関連(3ページ参照)

12月定例会は、11月29日より12月16日までの18日間の会期で開催されました。

町提出議案は税条例の一部改正や補正予算など16議案、議員からは自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書など4議案が提出されました。

採決の結果、職員の給与に関する条例等の一部改正、及び自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書は賛成多数で可決、TPPへの不参加を求める意見書は否決、他の議案はいずれも全会一致で可決しました。

一般質問では、前回同様10人が町政全般にわたり質問しました。

町制50周年記念事業に 317万円

議長あいさつ



皆様には、平成24年の初春を健やかにご迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、東日本大震災、福島原子力発電所の問題、各地での地震の頻発、台風12、15号による集中豪雨など大変な1年でありました。そんな中、本町としては岩手県遠野市の災害支援拠点施設への職員及びボランティアの派遣を通じて、一人ひとりが明日のために今何ができるのかを考えさせられた年でもありました。

さて、今年、本町の町制施行50周年を迎える年であり、また改築による南小学校が開校する年でもあります。このような大きな節目を迎えるときに、私ども議会といたしましても、町民の皆さんへの責務と役割を十分認識し、決意も新たに汗をかく所存でございます。

一日も早い被災地の復興、そして今年もまた皆様のご健勝でありますように心からご祈念申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

議長 倉知 敏 美

あと1ヶ月余で完成 旧校舎は4月より解体へ

4月開校に向け、いよいよ工事も躯体工事から内装工事へ移り、1月末現在で約90%の完成をめざして工事が進められています。

なお、前回の9月定例会における工事費の増額補正予算に続き、今回の定例会でも4月以降に実施される既設校舎等の解体工事費の補正予算並びに備品の請負契約を議決しました。



南小工事現場を全議員が視察=11月17日撮影

●校舎等解体工事費(監理料含む) 8742万円
校舎等建設工事費減額(入札残額) 3億6000万円

●備品購入の契約議決【全員賛成】
新校舎で必要な備品の契約として、3727万円を議決しました。

政府及び県への

意見書

■議員提出議案として出された意見書と結果

・老朽化した原発の延命中止と再生可能エネルギーへの転換の促進を求める意見書
【可決】

・自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書
【可決】

・愛知県の福祉医療制度の見直しに反対し、充実を求める意見書
【可決】

・環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への不参加を求める意見書
【否決】

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会で質疑があったものを掲載しました。

県人事委員会の給与改定を適用しては

問 本町の給与改定は従来から人事院の勧告に基づき実施されてきた。しかし、愛知県人事委員会の給与改定は、県内の民間企業をベースとしているので、県に準じた方がより県内民間企業の給与水準に適合すると思うので、愛知県人事委員会の給与改定を適用してはどうか。

答 10月31日の県の人事委員会の勧告は、平均で+0.19%となった。人事院勧告では近年、地域ごとの状況を示している。県では、給与表を独自に作成し進めている。提案もふまえ、これまでの経緯などを調査したうえで今後検討していきたい。

問 人事院勧告に基づき引き下げた場合、引き下げの人数と金額はどれくらいになるのか。

答 育児休業等を除く職員数165人のうち80人が減額対象となり、総額は約124万円となる。

一部事務組合などへの勤務には地域手当を支給へ

問 近隣市町の地域手当はどうなっているのか。

答 人事院規則の中で示されたとおり江南市、小牧市、犬山市、豊山町が3%、大口町、扶桑町は0%となっている。

問 今回の改正案では、町職員が名古屋市の広域連合や、犬山市、岩倉市の一部事務組合で勤務する場合、地域手当の対象になるということか。また対象者は何人か。

答 対象人数は3名。

新たに「専門員」創設

問 管理職級で管理職でない「専門員」の処遇はどのようになるのか。

答 一定の勤務年数の中で、給与面ではなく仕事面で長年の経験をいかしながら権限をもって仕事に取り組む職の位置づけである。よって、管理職手当は支給しない。

討論

職員給与の改正

民間の給与実態を
考えれば妥当

賛成

酒井廣治

遡^{さかのぼ}って減額するのは
容認できない

反対

吉田 正

大口町は従来から国の人事院勧告に準じており、職員の皆さんには度重なる減額で大変かもしれないが、民間の給与実態を考慮すれば、今回も国の人事院勧告に準じて改定するのが妥当と考える。

何から何まで、人事院勧告に数字だけ合わせようとすること自体が無理である。平成23年4月に遡って減額するというのは、6月に支給された期末勤労手当も遡って減額するということになる。

また、国の人事院勧告に準じながらも、派遣などで他地域に勤務する職員には地域手当を支給する改正も今回盛り込まれており、賛成する。

姑息^{こくそく}な手段だ。不利益^{ふりえき}については、不遡^{ふさく}及^{およ}び原則というものが当然あると思うので反対する。

採決の結果、可決

(賛成12、反対2)



4月1日に満50歳を迎える大口町。記念式典での企画に期待がふくらむ

町制50周年記念事業の中身は

問 50周年記念事業で協働委託料が2事業あがっているが、その内容はどのようなものか。

答 ①「HAPPYバースデー！おおぐち事業」 町民活動「まかせてネットワーク」が中心となり役場駐車場周辺でまちづくり活動団体や企業の協力を得て50年を祝える場を企画するもの。

②「記念式典合唱事業」

NPO登録団体の「櫻組」が中心となり、式典のオープニングとエンディングで合唱をとり入れた企画をするもの。

身近でやさしい民主主義推進事業モデル事業

問 補助金の91万円は何に充てられるのか。

答 愛知県が平成23年度から新設したもので、住民組織が地域づくりにかかる経費を助成するものである。本町では、「まちづくりを考える会」の委員や講師の報酬、消耗品などに充てた。

下水道未接続世帯への指導強化を

問 下水道の接続率はどのような状況か。

答 処理区域内人口で74%。(集落排水は含まれていない)

問 地区によっては供用開始後、10年が経過しているが、いまだに接続されていない世帯がある。接続されていない世帯へどのように指導しているのか。

答 ポスティングや訪問、その他広報等で案内している。

南小学校の解体はいつから

問 南小学校の解体工事について、今年度中に契約をしなければならぬとのことだが、いつから取り壊すのか。

答 解体工事は、できるだけ授業に支障が出ないように、4月以降速やかに解体を予定している。

コミュニティワーカーセンターへの町補助金減額

問 156万9千円減額した理由は。

答 町からワークセンターへ派遣している職員給与の一部である156万9千円が、国庫補助の増額対象になつたため、その増額分を町の補助金から減額するもの。

問 最近の事業展開はどのような状況か。

答 現在の会員数は、正会員198名、準会員が8名計206名登録されている。ワンコインサービスも始める一方、事務所で喫茶や弁当も提供している。また、剪定の依頼が多いため、毎年2月に講習会を開催し、就業者の拡大に努めている。



安全に配慮しながら剪定作業する会員

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

12月定例会では
10人が質問

資源ごみ減量

報奨金制度の見直しを

部長 制度の見直しを検討する



宮田和美

一般質問

宮田和美

平成20年の導入から平成23年11月30日までに報奨金を受け取った世帯

20年度	394世帯
21年度	1258世帯
22年度	1740世帯
23年度	1180世帯
計	4572世帯

総額 1371万6000円

平成22年度の受取回数別世帯数

1回	1009世帯
2回	286世帯
3回	27世帯
4回	12世帯
5回	6世帯

宮田 可燃ごみ減量のため平成20年度よりスタンプカード制度が導入され、72ポイントで三千円の報奨金を受け取ることができる。導入当時の町の財政力は、1.74もあり豊かであったが、今では大きく落ち込んでいる。

近年利用者が増え、報奨金も多額になってきたが、現状はどうなっているのか。

地域協働部長 今後ははつきりさせる一方、地元での資源ごみ回収量が減少していることも踏まえ、地元との結びつきも視野に制度の見直しを検討していきたい。

宮田 地区の消防団の現状はどうなっているのか。

地域協働部長 消防団員は、平成16年度まで97名であったが、実働可能な人数に見直しをかけたため、平成23年は69名となっている。

また、団員の補強対策としては、町内各種のイベントに参加するなど地

地域協働部長 町には消防団と自主防炎会が組織されているため、新たな組織の設立は考えていない。

2団体の共助による活性化が必要と考える一方、余野区の「余防隊」のような自主的な取組みにも支援していく。

防災対策

防災協力隊の設立を

部長 設立は考えていない

宮田 団塊世代の方々に力を借りて、消防団に協力する「防災協力隊」の設立の考えはないか。

地域協働部長 町には、域に密着した活動で親しまれるイメージづくりに取り組んでいる。さらに、女性団員の確保も進めている。

事業仕分けの導入を

部長 経営計画書や決算審査等で事業を見直す

伊藤 広報12月号には 町長のマニフェスト通信簿として48事業の達成状況が掲載されている。

組んでいくため、町独自の経営計画書や決算審査等で事業の見直しを図っていく。

伊藤 第6次総合計画では基本政策として4つの基本政策を掲げている。施策や事業は評価の対象になっているのに、この政策に対する評価がないのはなぜか。

またホームページでの公開については、今後よりわかりやすく表記することで、住民にアピールすることを検討していく。

総務部長

全国的に導入事例があるが、地方分権の時代にあつては、職員自ら自主自立の精神に立って、第三者の力を借りずに、住民の声に耳を傾け、その成果と今後の課題に取り

今後、4つの基本政策

総務部長

については、広報でお知らせしていくことも必要と考えている。

またホームページでの公開については、今後よりわかりやすく表記することで、住民にアピールすることを検討していく。



伊藤 浩



監査委員による決算審査

あいさつ運動

新たな仕組みでまちづくりを

町長 必要性は共有できるが、手法の考え方が違う



伊藤

人との絆を深め、子どもの人間的な成長、安全や安心及び温かい人間関係の醸成に役立つ、礼儀の基本であるあいさつについて町はどう思っているのか。

地域協働部長

人間関係が希薄になっている世の中で、地域や学校も家庭における「あいさつ」を積極的に行って行くことは、顔

の見える関係を築ききっかけや、人と人とのつながりを深めることになり、町が進めるまちづくり、地域づくりに有効な取り組みであると考えている。

伊藤

人と人のつながりを深めるにはあいさつが大切である。

学校や各種団体等が個別にあいさつ運動を展開するのではなく、行政で音頭を取ってもらえるところがあるだろうか。

地域協働部長

「行政がきめました、さあやりましょう。」ではどこか強制につながっていくので、効果を期待することが難しいと考える。

よっていま実施している自発的なあいさつ運動を奨励していく。

町長

あいさつの必要性は共有できると思っている。しかし、あいさつの徹底については、手法を間違えると強制、強要になるという危険があるので、若干考え方を異にしている。



江幡満世志

住宅リフォーム制度 助成制度を早く創設せよ

部長 ビジネスマッチングなど業者間で工夫が必要

「住宅リフォーム助成制度」実施自治体数
(県下で10自治体数以上を抜粋)

県名	県	市区	町村	計
北海道		14	32	46
岩手		9	12	21
秋田	1	13	9	23
山形	1	13	17	31
新潟		14	2	16
長野		19	30	49
埼玉		19	12	31
茨城		10	4	14
宮崎		8	6	14

※全国では、400の自治体が制度を創設
愛知県では、2市、1町が実施
(全国建設労働組合総連合 8月31日現在資料より)

江幡 長引く不況の中、早急に景気対策を実施することが必要である。地域経済の活性化、町内事業者への仕事おこし、雇用創出等のために本助成制度の創設を考えてはどうか。

健康福祉部長 引き続き3種とも接種費用の3分の2を助成していく。また、生活保護世帯と非課税世帯の方についても全額助成していく。なお平成23年度10月末の接種状況は次のとおり。ヒブワクチン354回、小児用肺炎球菌ワクチン437回、子宮頸がん予防ワクチン424回。

地域協働部長 町内に住宅リフォームに携わる業者や小規模事業者が少ないことやその内容を町や商工会でも把握していないこと、また、税の公益性の観点から慎重に議論していく必要がある。



予防面で接種の意味は大きいのでは

ヒブワクチン 小児用肺炎球菌ワクチン

- ・対象 生後2か月から5歳未満
- ・内容 髄膜炎や肺炎などの重篤な疾患予防が目的

子宮頸がん予防ワクチン

- ・対象 中学1年から高校1年相当の年齢
- ・内容 発がん性のあるウィルスの感染予防が目的

【その他の質問】

問 国民健康保険税を値下げせよ

任意予防接種
接種費用の全額助成をせよ
部長 現行の3分の2の助成を維持する

江幡 ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんの3種について県下では33自治体が全額助成している。

それぞれ年齢により接種回数も異なり負担も高額である。予防面から全額助成すれば、長期での医療費抑制につながると考えるがどうか。

健康福祉部長 引き続き3種とも接種費用の3分の2を助成していく。

また、生活保護世帯と非課税世帯の方についても全額助成していく。

なお平成23年度10月末の接種状況は次のとおり。

ヒブワクチン354回、小児用肺炎球菌ワクチン437回、子宮頸がん予防ワクチン424回。

自転車の交通安全対策

専用ゾーンを整備しては

部長 モデル路線を検討する

柘植 自転車関連事故は全国で15万件を超え、悪質な違反は5年前に比べて9倍になっている。

生涯教育部長 マナーが悪い生徒については、自転車通学を禁止するなど厳正に指導している。また教師も時間の許す限り通学路の交差点に立ち、生徒に言葉をかけて交通安全を促している。自転車免許証を発行するのではなく、地域のなかでも見守っていたいただき社会全体で交通安全の意識を高めることが必要と考えている。

柘植 自転車専用道路の整備は時間と予算がかかり進まない。自転車専用ゾーンをラインで整備できないか。

建設部長 現在モデル路線としては、カネスエから大口中学校間の歩道の中で、ラインで分離する方法を江南警察署と協議している。



柘植 満



通学する大口中学校の生徒

【その他の質問】

問 あいち医療通訳システムの取り組みは

防災対策

災害対策に女性の視点を生かせ

部長 必要に応じて意見を反映していく

柘植 国の防災基本計画では、2005年に女性の参画と男女双方の視点が初めて盛り込まれ、2008年には政策決定過程における女性の参加が明記された。

しかし、東日本大震災では、着替える場所や授乳スペースがなかったり、女性用衛生品、化粧品、乳児のおむつなど支援物資の不足も目立ったりと、女性の視点からの見直しが浮き彫りになった。

女性が、災害時の担い手として、その力を発揮できるように仕組みが必要である。

防災部局と男女共同参画局との連携強化及び女性の意見を地域防災計画に反映させる今後の取り組みはどうなっているか。

地域協働部長 避難所において女性の視点が必要なものは、運用マニユ

アルの中で協議し、意見を反映していく。

柘植 災害に対する応用力を鍛える効果のある「HUG(ハグ)」の訓練実施と普及拡大をしようか。

地域協働部長 町では今年から区長防災研修会で図上訓練の紹介を採り入れている。

これまでの訓練体験では、災害支援ボランティアが町外で企画されたHUGに2回参加している。今後は、防災担当職員が体験し、訓練の普及促進に努めていく。

※「HUG」とは

HUGは、H(hinanzo避難所)、U(unei運営)、G(gameゲーム)の略称。避難所運営の図上訓練のこと。



土田 進

第1月曜日の子育て相談室

なぜ年度途中で廃止するのか

部長 個別相談や健診指導の充実が急務と判断

土田 これまで、第1と第3の月曜日に開催されていた子育て相談室。平成23年度開催予定では平成24年1月から3月まで開催日が公表されていたものが、急遽12月広報で第1月曜日の開催を終了すると掲載された。この変更で子育て相談が予約制の第3月曜日しかなかったり、相談室の目的が果たせない状況が出てきた。予約なしで計測のみでも利用できた第1月曜日開催が、乳児の親の交流の場として、多くの人が利用していたのに打ち切ったのはなぜか。



予約なしでも行ける日をなくさないで

健康福祉部長

これまで7割

近くが身体計測のみの利用であったことから、個別の相談や健診での指導が今後必要と判断し変更した。

今後は、児童センター

でも身体計測ができるよう整備し、保健師も出向き相談に対応していく。

土田

貴重な交流の場の再開を強く要望する。少なくとも第3月曜日を予約なしで、計測のみでも利用可能にできないのか。

健康福祉部長

児童センター

でも0歳から3歳までの親子を対象とした「ひろば」を毎週月曜日と金曜日の午前中に開催しているのので、子育て相談や交流の場づくりを進めていく。

町道布袋小牧線の拡幅計画

地元にも早く説明を

部長 今年度中に開催する



朝夕の交通量が多く小学生の登下校の安全に心配の声も

大之瀬橋から東へ230mの拡幅計画

土田

計画図面はできているのか。地元説明会はいつ開くのか。

建設部長

道路改良に向けた道路の幅員、線形など詳細な計画図面はまだできていない。

今年度中に成果の図面をもとに開催する。

土田

関係者全員の同意がなければ工事しないのか。今後の見通しは。

建設部長

まだ、道路の幅員・線形等が決まっていない現時点においては、「する」「しない」の回答はできない。道路の幅員・線形及び同意が得られる土地の位置などを考慮のうえ判断する。

産業振興策

町の発展と財政安定に向け推進せよ

町長 町の現状を見極め考えていく

今後の税収減への対応は

地域協働部長

本町は、10年以

前田

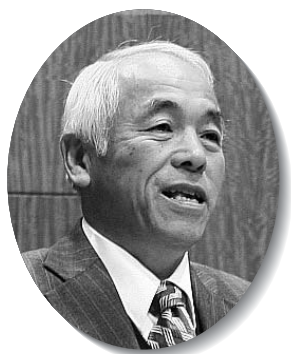
安定的な財政運営を進めるため、

前田 今後、世界経済の混乱、田舎なことから、町内企業の生産活動も厳しさを増し、税収の減少も心配されるが、町の財政運営の今後の見通しはどうか。

上前からこの大きな時代の流れを見据え、他団体に先んじて住民の参加と参画のまちづくりを推し進めてきた。その結果、まちづくり基本条例を制定し、地域主体の新しい公共の仕組みづくりを推進することで厳しい財政運営に対応していく。

町長

過去の工場誘致の豊かさを担保してくれた。繊維から重工業という産業の変化の中で、自動車関連産業が中心になっているが、このままいけるのか、非常に判断が難しい状況にある。もう少し町の現状を見極めつつ、これからの産業振興策について、じっくり考えていきたい。



前田 新生

健康増進事業

医療費抑制に見直しや対策が必要では

部長 予防や啓発の継続で抑制に努める

前田

国保の一人当たりの医療費が、

県内市町村の中では高い水準にあるが、今後、高齢化が進む中で、一層の医療費の増加とともに、町民の負担が増えることが予想される。

現行の健康増進事業を見直すとともに、医療費抑制をめざした新しい対策を考えたらどうか。

健康福祉部長

医療費が高い

背景は、医療機関が充実していること受診率が高いことなどがあるが、抑制するための特効薬がないのが現実である。

今後は、予防対策や適性受診の啓発、健康意識の高揚などが必要と考え、予防施策や啓発事業を継続することで医療費の抑制につなげていきたい。



生活習慣を見直す取り組みが始まっている=PPKプロジェクト地区説明会で

【その他の質問】

問 単身・高齢者対策事業について

避難所への誘導対策

コミュニティバスの臨時運行をしては

部長 臨時運行は考えていない



齊木一三



通勤や通学にも利用=柏森駅で

齊木

災害が予想される場合、また災害時に開放された避難所への交通手段として災害弱者が利用できるよう、

まちのコミュニティバスの臨時便を出すことはできないか。

また、避難誘導は現在、自主防災、福祉関係者との連携がとれ、組織として機能しているのか。

「災害時要援護者」とは

災害時に支援が必要な高齢者、障がい者、乳幼児親子・妊婦、日本語が十分理解できない外国人のこと。

地域協働部長

災害発生の時

行動では、災害の大小に関係なく交通混乱防止のため、①近所での協力、②2人以上での避難、③車を利用しない、ということで啓発している。

また、災害時要援護者については、支援者とともに事前登録することで、支援の仕組みを進めている。

こうした身近な地域で互助、共助の体制を進めているのでコミュニティバスの臨時運行は考えていない。

災害時の民間協力体制

商工会等を通して問いかけては

部長 協力依頼の内容を検討していく

齊木

町の防災計画では、災害時の協力体制について、業種ごとに協定を締結している。

地域協働部長

商工会を通じて

町内には個人的に個々の職業を生かし、協力をしていただけの会社もあると思われる。

今後、多くの方々へ具体的どのような協力をお願いできるか、早急に検討していきたい。

そこで、商工会等を通じて、協力をお願いを問いかけてはどうか。



平成22年度の防災訓練

【その他の質問】

問 県道斎藤羽黒線の歩道整備をせよ

太陽光発電

補助金額と回数を増やして

部長 制度の変更は考えていない

吉田 住宅用太陽光発電システムに対して、町は4kW最大8万円まで補助している。国同様、10kWまでの補助を行うべきではないか。地域協働部長 根拠は、補助対象者を法人まで含められていることがあり、

売電を優先しているわけではない。原子力発電から自然エネルギーへの転換については、国のエネルギー政策見直しの中で支援を考えるべきである。今後とも引き続き補助金制度の目的どおり進めていくので変更は考えていない。



吉田 正



これからはエネルギーも地産地消の発想が必要

放射能測定

測定を常時行い公表しては 部長 測定器の貸出を検討する



町に配備されている放射能測定器

吉田 新聞報道で、以前に放射能に被災した可能性のある食肉が町内店舗で販売されたというのがあった。

県下でもまだモニタリングポストは少ない状況にあるが、町にも9月末に1台配備されたと聞く。どのように活用しているのか。

地域協働部長 簡易測定器として活用しているが、その結果については、簡易測定であるため公表を考慮していない。個人のデータぐらいの認識である。

吉田 データというのは、隠せば隠すべきと思うかどうか。

地域協働部長 県が今年増設した5か所のモニタリングポストの数値を参考にしていきたい。なお、機器の貸出も視野に検討していく。

【その他の質問】

- 問 これは問題だ「子ども・子育て新システム」
- 問 来年度の介護保険料は段階をさらに増やして値上げするな
- 問 2市2町のごみ処理問題はどのようにするのか



岡 孝夫

大口町地域防災計画

近隣市町以外とも協定を 部長 視野に入れながら検討する

備 蓄 量	
	平成23年6月現在
アルファ米	2500食
缶詰パン	2016食
粉ミルク	6884g
クラッカー	8750食
被服	7536枚
救急箱	16セット
給水タンク	33個
水袋	5700袋
毛布	750枚

岡 町の防災計画は住民等にほとんど知らされていない。今回の質問で町のホームページに掲載されたことに感謝する。

地域協働部長 左表のとおり。

岡 現時点での食糧、毛布の備蓄量は、

地域協働部長 新たに店舗したスーパーとの協定はどうなっているか。

岡 平成19年に締結している他のスーパー同様協定を依頼しているが、協議中とのこと。

岡 地震では、広範囲での被害が想定されるため、近隣市町との災害協定は事実上、機能しないのでは。今後、予想される地震の影響が重ならず、かつ距離も有利な地域の市町との協定も結べないか。

地域協働部長 視野に入れながら検討していく。

防犯対策補助金

自家用車も補助金の対象にして

部長 制度全般を検討する

もっと危機感を持って
対処を
今一度防犯ステッカー
でPRを

岡 町内の犯罪率は、決して良くない結果となっている。自家用車両も防犯対策補助金の対象にできないか。

岡 数年前に、防犯ステッカーを全戸配布したと聞いている。公共の場所等も含め、ステッカーを貼り、まちを上げて防犯に取り組んでいくことをアピールすること

地域協働部長 今年度も、軟

質のプラスチック板を区長さんを通じて配布しており、侵入盗の減少に効果があったと警察署から聞いている。

今後パトロールの強化、犯罪情報の提供に努めていく。

地域協働部長 補助金は自主防犯の啓発を目的に取り組んできたものである。

自家用車両など補助対象を広げるといふ考え方もあるが、利用実績が減少していることもあり、犯罪内容に合わせた方法も含め制度のあり方を検討していく。



防犯に効果が上がっているステッカー

保育園の一時保育

平成25年3月で打ち切るな

町長 いろんな人の力を借りて実施していく

丹羽 北保育園で実施している「就学前児童一時預かり事業」。

町長 「一時保育」の必要性は認識している。すべてを公がやらなければならぬのか数年前から検討しているが、現在まで方針が見出せていない。今後は、いろんな人の力を借りて実施、継続していくことを考えていきたい。

健康福祉部長 実際には、た方の一部の意見として、使っていくということがあった。援助会員の自宅で預っていることが原因ではないかと推測している。今後は、できるだけ弾力的な運用の中でこうした問題を解消していきたい。

前児童一時預かり事業」。ホームページや経営計画書では、平成25年3月31日までとしている。二一ズも高いのに2年間で打ち切るのなぜか。平成25年3月31日以後も続けることはできないのか。

丹羽 一時預かりを補完する「すくすくサポート」の利用が低調なのはなぜか。



丹羽 勉



ドアノッキング事業

どのように推進するのか

部長 民生・児童委員の協力のもと進める

丹羽 子育て中の家庭を訪問するドアノッキング事業。平成24年度から実施する計画だが、事業の推進には多くの課題が予想される。その内容と進行状況はどうか。

健康福祉部長 内容は、児童委員、民生委員が身近な相談者となり、課題を抱える親子の早期発見につなげていくことを目的に、計画を前倒し平成24年1月から実施する。進行状況は、7月の定例会で見守り活動の一環として取り込むことを決定し、11月の定例会では、助産師や保健師から赤ちゃん訪問時の心得や注意事項を研修し、12月には技術研修も実施した。

丹羽 訪問回数は何回くらいになるか。
健康福祉部長 1人に1年に1回の割合で、年2回を予定している。延べ回数は、1年間で出生数約220人なので、440回になる。

【その他の質問】

- 問 保育所の入所定員を改正する考えはないか
- 問 母子通園（ばんだ教室）の現状は
- 問 保育園施設整備に必要な予算を
- 問 子育て支援センターの具体的構想は

〈大政クラブ〉岩手県遠野市・釜石市・大槌町 被災地の現状と 今後の復興支援の課題を調査



災害復興支援活動で大口町がお世話になった「遠野まごころネット」訪問=11月2日遠野市役所で

11月2日



津波で機能を失った大槌町役場
=11月2日撮影

平成23年6月18日、19日に正・副議長が、大口町災害派遣ボランティア活動拠点「大口絆つなぐネット」を訪問して以来、はや5ヶ月が過ぎました。その後の被災地の状況ならびに復興支援の様子を確認し、今後の本町の支援のあり方を検討するために、岩手県遠野市、釜

石市、大槌町へ行ってきました。遠野市役所では、沿岸地域での地震・津波災害における後方支援拠点構想を進め、平成19年、20年に自衛隊・警察・消防・医療機関・住民などと大規模な合同訓練を実施し、宮城県沖地震に備えたことが、今回の震災支援に活かされ、これからも復興・復旧に向けさらなる支援活動を継続していきますとの説明を受けてきました。また、津波による被災現場の凄まじさを実感させられました。

(木野 春徳)

〈日本共産党 大口町議団〉 埼玉県比企郡鳩山町

住宅リフォーム助成金制度を調査

住宅リフォームの助成制度で雇用の創出と地域経済の活性化に取り組んでいる鳩山町を視察してきました。

また、平成23年度は、震災の影響もあり、補正予算を組み対応したとのことでした。

今後の課題

地元業者の経営安定と育成につなげていくためにも、町の商工会とも連携を図りながら、広く周知していくことが、求められているとのことでした。

(江幡満世志)

導入の効果

平成19年度から22年度までの過去4年間の交付実績は、240万円余で、経済波及効果は5千800万円余あったと考えられます。

11月9日



床張替えの住宅改修

11月2日

〈誠真クラブ・公明党・研政会〉 千代田区立図書館運営の Web(ウェブ)図書館を調査

特徴的なサービス

千代田区立図書館には、特徴的なサービスの1つとして、web図書館があり、電子化された約5200タイトルの図書が24時間・365日、自宅のパソコン等で閲覧でき、字の大きさも変えられる等、デジタルデータならではの機能があります。また、2週間で自動返却となります。

全般としては、多角的な取り組みをする中、数値目標による管理や毎年のアンケート等、その評価体制も充実しており、次に繋がる体制が組み立てられていることが大変参考となりました。

導入のメリット

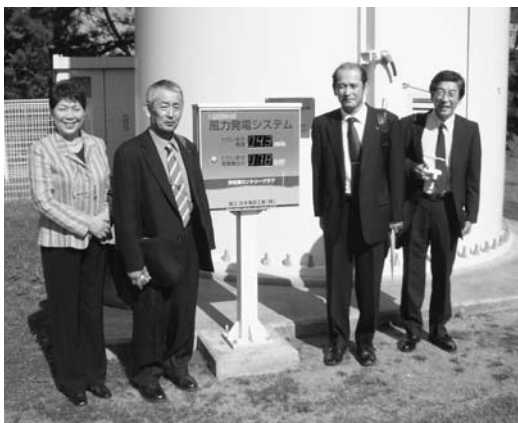
- ①書棚スペースの節約
- ②紙媒体ではないコンテンツの導入
- ③資料の貸出・返却・督促に人手が不要
- ④利用による汚損・破損なし、紛失・延滞もない

(岡 孝夫)

これにより、書棚の節約、貸出・返却・督促に人手が不要、利用による汚損等や紛失も延滞もないとのことでした。

【その他の視察地】

- ・風力発電 (浜名湖観光開発(株))
- ・太陽熱利用 (OMソーラー(株))



風力発電の風車の下で
=11月1日浜名湖観光開発(株)で

地元食材の給食で、元気モリモリ！ ごちそうさまでした

<当日メニュー>



黒米入りご飯、牛乳、関東煮、剣えびと大豆のごまがらめ、ブロッコリーとキャベツのおかかあえ。



児童と楽しく会食する委員長

12月8日、西小学校で議長と文教福祉常任委員と町関係者が、地元で採れた食材を使った学校給食を児童といっしょに楽しく会食しました。会食した6年1組の児童たちは、無邪気な笑顔と元気なあいさつで迎えてくれました。食育の一環としての取り組みでしたが、生産者への思いと地産地消の取り組みを感じ、心が温まりました。

(岡 孝夫)

旭日雙光章受章



宇野昌康氏

6期24年にわたり、町議会議員として地方自治にご尽力されたことが認められ、「旭日雙光章」を受章されました。

(11月4日役場公室にて)

〈議会広報常任委員会〉砂防会館 町村議会広報研修会に4委員が参加

10月24日
10月25日



講師の指導に真剣な表情で聞き入る各委員
=10月24日砂防会館で

平成23年度議会広報常任委員会の所管事務調査として、第75回町村議会広報研修会に参加しました。

平成23年10月24日及び25日の両日、東京都千代田区の砂防会館において、全国から101町村、400人を超える議会広報の作成・編集等に携わる議員及び事務局職員の参加のもと、町村議会広報研修会が開催されました。

研修会は、第1日目

①文章を書く基本、②原稿のレイアウトの基本、

③広報誌の写真撮影についての基本など、3人の講師よりわかりやすく説明を受けました。

第2日目は、分科会に分かれて、事前に添削指導を希望した町村議会広報の事例研究と講評を聞いてきました。

伝え方においては、単なる文章表現だけでなく、「文字組み」や視覚的に安定感のあるレイアウトの必要性、さらには、写真を使用する場合の著作権や肖像権の基本的な考え方など、多角的に伝える工夫が必要であることが改めて確認することができました。

今回の事例研究などを通じて指導を受けた内容は、紙面づくりに生かしていきたいと思えます。

(酒井廣治)



来庁者との意見交換会の様子
=10月27日撮影

平成17年から平成22年にかけて、町村議会広報全国コンクールで受賞した経緯から、平成23年度は10団体の視察が予定されています。

研修内容では、本町の編集方針や編集上で工夫していること、さらには発行経費などについて、意見交換しました。

こうした視察の機会は本町にとっても、絶好の研修の機会であるところらえ、相互に研修しました。

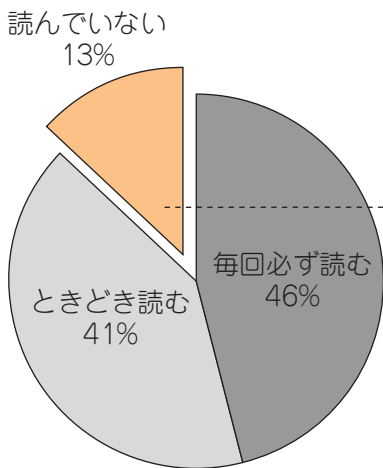
(酒井廣治)

全国から議会広報の視察相次ぐ

来庁日	市町議会名	人数
7/22(金)	岐阜県瑞浪市議会	6人
7/27(水)	鹿児島県出水市議会	7人
8/ 9(火)	徳島県吉野川市議会	7人
8/26(金)	福井県大野市議会	5人
10/18(火)	石川県川北町議会	6人
10/27(木)	石川県かほく市議会	8人
1/19(木)	千葉県富里市議会	9人
2/ 2(木) 予定	山梨県北杜市議会	未定
2/ 3(金) 予定	福岡県福津市議会	未定
2/17(金) 予定	長野県高森町議会	未定
計	10団体	48人

議会だより アンケート結果

11月5日(土)のふれあいまつりで、「議会だより」のアンケートを実施しました。300名の方にご協力いただき、ありがとうございました。今回は、その結果を報告します。



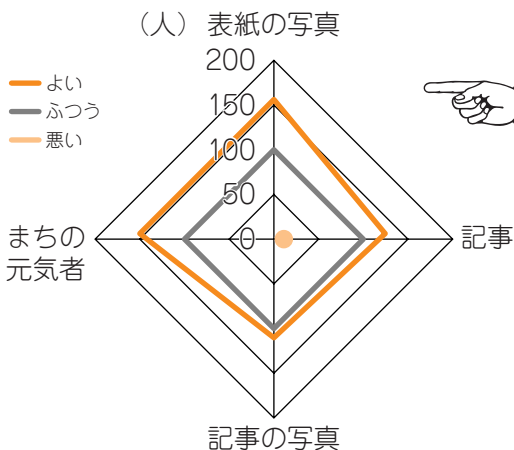
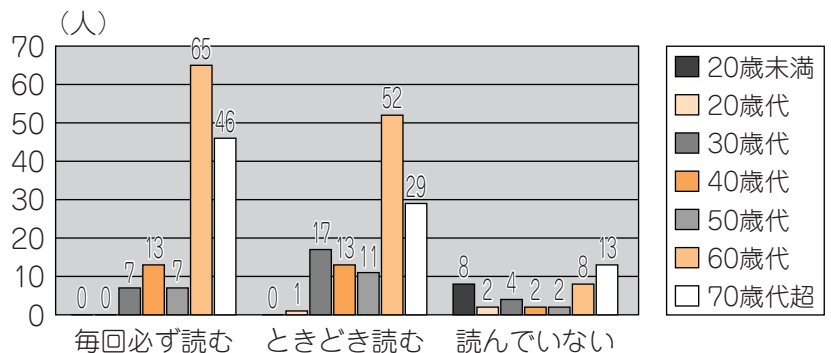
Point① どれだけ読まれているか?

全体的に見ると、毎回もしくはときどき読むと答えた方が87%を占めています。

【読んでいない理由】

- ・議会に興味がない
- ・配られていることを知らなかった

また年齢別では、若年層にあまり読まれておらず、60歳以上の層ではおおむね読まれているという結果でした。

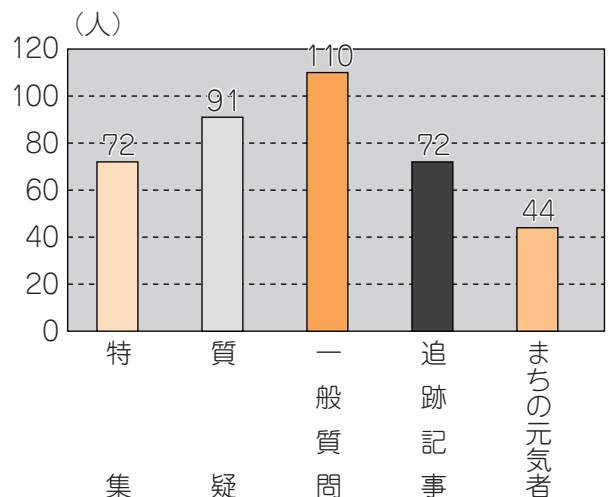


Point② 読んだ感想は?

「表紙の写真」、「まちの元気者」など各項目ともに支持を得られているようです。

Point③ 興味のある記事は?

「質疑」と「一般質問」と答えた方が多く、次いで「追跡記事」、「特集」の順になっています。



■編集委員より

アンケート結果を見ると配られていることを知らなかった人、毎回読んでいる人、ホームページで議会の内容を見ている人まで関心の差を大きく感じました。

今後は、わかりやすく、興味を持ってもらえるようにしていきたいと思えます。

まちの 元気者

元気クラブ会員募集中

10月22日、多くの子どもたちが楽しんだ南児童センターまつりでお手伝いをしていた元気クラブの水谷由美さんにインタビューしました。

♪ 元気クラブってどんな仲間？

児童センターを拠点とするボランティアグループです。主に児童センターでの色々なイベント開催にあたり、各個人ができる範囲でお手伝いしています。

♪ 例えばどんなイベントがありますか？

季節行事やセンターまつり・お楽しみ会・朗読劇・お菓子作りなどです。

♪ 会員になりたいときは？

原則、町内在住または在勤で、この会の目的に賛同される方なら、年齢・性別は問いません。会費は保険料込みで年間500円です。

詳しくは、お近くの児童センターにお問い合わせください。(^^) /

<電話番号>

- ・南児童センター 95-3528(元気クラブ事務局)
- ・北児童センター 95-7141
- ・西児童センター 96-0481

♪ 町や議会への要望などありましたら

会員研修時、講師の依頼先を探すのに困ることがあるので、紹介等をお願いできると助かります。また、元気クラブの活動紹介もしていただけると嬉しいです。

♪ このボランティアに携わって良かったと思うことは？

子どもが保育園児のときの母親仲間が、子どもが小学生になった今でも、この活動を通じてつながりが持てるのが楽しいです。今後、3つの児童センターの会員がいっしょになって何かできればもっと楽しいかもしれません。(^^) /



はい・ち～ず！会員の皆さんと（前列左が水谷さん）
=10月22日 南児童センターまつり

■取材を終えて

まちの元気者にピッタリのネーミングを持つ元気クラブのみなさん。その爽やかな笑顔からたくさんの元気をいただきました。

(岡 孝夫)

表紙の写真

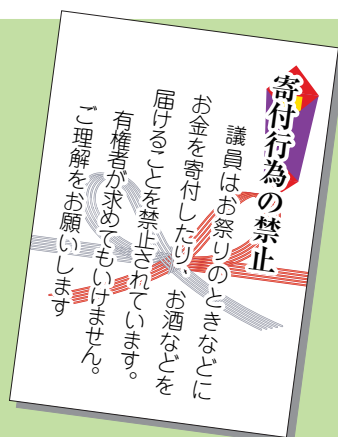
毎年恒例の保育園の生活発表会。園児も親も両方が熱くなる日です。年中のかわいい園児がお父さん、お母さんにもう一人の自分を伝えている姿に感動しました。一生懸命って素晴らしい！

=12月3日中保育園で

議長 倉知敏美
議会広報常任委員長 酒井廣治
副委員長 宮田和正
委員 丹羽孝
委員 岡田進

発行責任者

土田進
岡田孝
丹羽孝
吉田和正
宮田和正
酒井廣治



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/gikai/kaigiroku.html>



皆さん議会傍聴に 来てください

3月定例会予定

- 3月 2日(金) 提案説明
- 3月 6日(火) 質疑
- 3月 7日(水) 質疑・委員会付託
- 3月12日(月) 総務建設常任委員会
- 3月13日(火) 文教福祉常任委員会
- 3月15日(木) 一般質問
- 3月16日(金) 一般質問
- 3月21日(水) 討論・採決

手続き簡単
役場3階で住所と名前を書くだけ